

## 令和2年度事業報告

### 1. 防錆に関する調査研究を行う事業

#### 1.1 防錆防食材料部会（部会長 日東電工(株) 林 誠也殿）

防錆防食材料部会は、24社、32名の会員により次の事業を行った。

##### (1) 部会事業

防錆防食材料部会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年度7月開催予定であった総会の開催を取りやめ、役員改選を郵便で実施し、投票結果と総会議案資料を郵送して報告した。

また、総会記念講演会は、新型コロナウイルスの感染拡大が一時的に収まった令和2年11月27日に3蜜対策を行い「プラスチックの海洋汚染と対策」元日本プラスチック工業連盟 岸村小太郎殿を迎えて開催した。

##### (2) 防錆油剤分科会（分科会長 大同化学(株) 足立 尚殿）

令和2年11月27日開催の記念講演会において「JISに規定の防錆油とそれらの評価方法」出光興産(株) 長瀬直樹殿の講演を行った。

##### (3) 気化性防錆材料分科会（分科会長 王子エフテックス(株) 白井和彦殿）

令和2年11月27日開催の記念講演会において「気化性防錆紙からの距離と気化性防錆性能に関する新たな試験方法」(株)イーパック 會田敬三殿の講演を行った。

##### (4) 被覆防食材料分科会（分科会長 日東電工(株) 林 誠也殿）

被覆防食材料分科会は、協会が設置したJIS Z 1902（ペトロラタム系防食テープ）改正原案作成委員会の審議が円滑に進むよう、当該製品を製造・販売する業界として、全面的に協力した。

また、令和2年11月27日開催の記念講演会において「JIS Z 1903:2016ペトロラタム系防食ペースト類の改正概要」(株)ナカボーテック 志鶴真介殿の講演を行った。

##### (5) 自動車用化学製品分科会（分科会長 ショーワ(株) 安田 力殿）

自動車用化学製品分科会は、部会事業に協力した。

#### 1.2 溶射部会（部会長 元海上技術安全研究所 植松 進殿）

溶射部会は、防錆防食溶射の施工技術並びに皮膜品質の向上を図ることを目的に活動を行った。

1986年（昭和61年）に千葉県の千倉町で開始した鋼管の暴露試験は、2020年（令和2年）5月で34年を迎え、毎年この時期に観察を行っていたが、緊急事態宣言下を避け、令和2年10月26日、27日の両日、外観観察、膜厚測定、写真撮影を行った。また、2017年に開始した新規溶射鋼管2本、2018年に補修溶射を考慮し施工したバンドの観察も行った。

### 2. 防錆に関する技術者の養成を行う事業

#### 2.1 防錆技術学校

##### (1) 第60回防錆技術学校

第60回防錆技術学校（施設防食科、防錆塗装科、防錆塗装科別科、めっき科、防錆包装科の5科で構成）は、経済産業省、国土交通省、日本商工会議所の後援を受けて、広く産業界より受講者を募り、352名の受講者を迎えて令和2年4月1日に開校した。

1年間の教育は、通信による教育と講師による直接指導を行った。しかし、腐食理論などの基礎内容の理解を助ける学習指導は、緊急事態宣言下にあったため、5月の東京、大阪での開催を中止し、個別の質問を電話、メールで対応し、受講生の学習を援助した。

専攻科の理解と共に最新情報を提供する面接講義は、9月に大阪、10月に東京において3蜜を避けながら実施した。この面接講義では、実力判定の筆記試験、面接講義時の理解度確認試験を行った。

また、コロナ渦のため出席が困難な受講生には、レポートなどの課題で対応した。

専攻科目終了時には、学習の集大成である防錆管理士認定論文の審査、及落判定会議を経て、315名の修業者並びに313名の防錆管理士資格者を認定した。

その結果、創設以来の修業者総数16,345名、防錆管理士総数16,149名に達した。

第60回防錆技術学校 修業・認定者数

専攻科	受講者数	修業者数	管理士認定者数
施設防食科	71	65	64
防錆塗装科	127	109	108
防錆塗装科別科	91	84	87
めっき科	28	24	22
防錆包装科	35	33	32

修業式は、当初3月5日開催の予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大による第2回緊急事態宣言が1月8日から3月7日まで発出されたため、急遽3月12日に延期した。

しかし、緊急事態宣言は東京圏の1都3県のみ3月21日まで再延長されたが、来場者に検温、アルコール消毒とマスク着用を求め、会場内の座席を例年の2倍の間隔をあけて3月12日に経済産業省のご臨席のもと開催した。

修業式の式典に先立ち、優秀論文の中から「弊社溶接フレームの防錆対策の最適化検討」(榊横河ブリッジ 高島嗣政殿(施設防食科) [リモート発表])、「防錆紙の水平方向における到達距離に関する調査について」(榊イーパック 松本加央里殿の2編の論文発表を行った。

式典では、羽田隆司会長より修業証及び防錆管理士認定証の授与が行われ、その後、成績優秀者に対し最優秀賞(5名)、優秀賞(31名)、優秀論文賞(13名)を贈り表彰した。

また、例年開催している懇親会は、政府の自粛要請を受けて中止した。

## (2) 防錆技術学校教材

専攻科教材の改訂は毎年行っているが、第60回防錆技術学校では、主として下記の科目について改訂を行った。

めっき科は「電気めっきⅡ」、防錆塗装科と防錆塗装科別科は「鋼構造物用塗料」、防錆包装科は「気化性防錆材Ⅱ」、施設防食科は「橋梁・鉄塔」「非金属被膜」の改訂を行うと共に、その他の科目でも加筆訂正を行った。

また、防錆防食技術が広範囲にわたる技術であることから、防錆管理士としては最新情報及び受講科以外の技術情報を習得する必要があるため、月刊技術誌「防錆管理」を副教材として配布した。

## 2.2 防錆管理士会（会長 ㈱竹中工務店 長谷川完殿：会員数 334名）

防錆管理士会は、国内に5支部を置き次の事業を行った。

### (1) 本部事業（幹事長 日本大学 酒井哲也殿）

防錆管理士会は、令和2年度通常総会を沖縄支部の企画運営で開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面審議で実施した。

### (2) 東日本支部（支部長 ㈱ケット科学研究所 久保興一殿）

東日本支部は、令和2年10月15日に幹事会を開催し、令和2年度の行事開催について検討した結果、防錆防食材料部会と共催で「プラスチックの海洋汚染と対策」元日本プラスチック工業連盟 岸村小太郎殿ほかの講演会を開催し、他の行事開催は自粛することを決定した。

### (3) 東海支部（支部長 津坂峯隆殿）

東海支部は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、すべての行事の開催を自粛した。

### (4) 西日本支部（支部長 長沼技術士事務所 長沼 仁殿）

西日本支部は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、すべての行事の開催を自粛した。

### (5) 九州支部（支部長 ㈲宮寄塗装工業 宮寄 香殿）

九州支部は、令和2年3月末に予定していた講演会を7月に変更して開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、すべての行事の開催を自粛した。

### (6) 沖縄支部（支部長 ㈱エムテック 宮城 肇殿）

沖縄支部は、令和2年度の防錆管理士会総会の実施担当支部であったが、新型コロナウイルス感染拡大により開催が不可能となった。

また、沖縄支部の行事としては、令和2年11月13日に「通信設備の防錆防食技術に関する最近のトピックス」東日本電信電話㈱ 折口壮志殿（リモート）ほかの講演会を開催したが、以後の開催予定行事は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を自粛した。

## 3. 防錆に関する日本産業規格及び国際規格の制定及び普及に協力する事業

### 3.1 国際規格

塗装、溶射、ライニングの下地として活用されるブラスト法についての国際規格ISO/TC35/SC12の対応を行うため国内委員会（委員長 日本大学 酒井哲也殿）を組織し、23名の委員構成で対応した。

また、委員会は開催できず、報告のみとした。

その後の対応としては、メールによる意見聴取を行いながら、CIB投票 1件、WD投票 1件、CD投票 2件、DIS投票 1件、FDIS投票 4件、SR投票 1件の計10件の投票を行った。ISO 11124-6 スポンジブラストがCD投票へ進められた。

### 3.2 日本産業規格

JIS Z 1902 (ペトロラタム系防食テープ) の規格改正を行うため、経済産業省の指導と(一財)日本規格協会の人的・財政的支援を受け、令和元年12月にJIS改正原案作成委員会(委員長(国研)港湾空港技術研究所 山路 徹殿)を組織し、改正原案作成の審議を行い、令和2年11月に(一財)日本規格協会を経由して経済産業省に改正原案を答申した。

また、(一財)日本規格協会が編集発行する「金属表面処理JISハンドブック」の編纂委員会に委員を派遣し、当協会が原案作成したJIS規格の編集を中心に協力した。

## 4. 防錆に関する参考図書及び資料を作成し、又はこれを配布する事業

### 4.1 機関誌「防錆管理」

月刊技術誌「防錆管理」の編集委員会(編集委員長 JFEテクノリサーチ㈱ 村瀬正次殿、副編集委員長 建設塗装工業㈱ 江成孝文殿)は、分野別専門家16名の委員で構成し、12回の編集委員会で検討を重ねながら、64巻4月号から65巻3月号までの12号を発行した。なお、令和2年3月の委員会からは、新型コロナウイルス感染症対策として、ウェブと会議室のハイブリッド方式で開催した。

防錆防食専門分野ごとのテクニカルレポート、解説、及び連載として「腐食の電気化学と測定方法の注意点」東京工業大学 水流 徹殿、「JISに規定の防錆油とそれらの評価法」出光興産㈱ 長瀬直樹殿の掲載を行うなど、会員相互の情報交換の場としての役割を担っている。

### 4.2 書籍販売

「わが国における腐食コスト調査報告書」を出版・販売するとともに、現有11タイトルの書籍販売に努めた。

## 5. 防錆に関する文献、資料及び情報の収集を行い、これを閲覧に供する事業

### 5.1 防錆防食技術発表大会

第40回防錆防食技術発表大会実行委員会(実行委員長 九州大学大学院 濱田秀則殿、副委員長 日鉄防食㈱ 原田佳幸殿)は、専門分野ごとの委員22名で構成し、令和2年7月2日、3日の2日間、東京・御茶ノ水の「東京ガーデンパレス」において開催を予定した。

当発表大会では、特別講演「首都高速道路のリニューアル」(一財)首都高速道路技術センター 高木千太郎殿、「溶射」元海上技術安全研究所 植松 進殿の2件を、「いまさから聞けない用語」では、「ブラスト」(国研)土木研究所 富山禎仁殿、及び技術発表29件、製品・施工技術発表2件を予定した。しかし、新型コロナウイルス感染者数が増加しているため、会場に集合して開催する講演大会を中止した。そのため、映画「広島空港大橋(広島スカイアーチ)～建設のあゆみ～」を中止するとともに、若手技術者発表賞も本人の講演がないため中止した。

しかし、発表大会は中止したが、発表内容を公表するため予稿集を作成し、第40回防錆防食技術発表大会予稿集として発行した。そして、この予稿集を販売するとともに、当発表大会を教材として、第60回防錆技術学校受講者の防錆管理士認定論文に反映させるため、教材として配布するとともに、広く広報に努めた。

## 5.2 インターネットによる情報の提供

当協会活動状況の情報公開（事業計画・収支予算書、防錆技術学校、防錆防食技術発表大会、出版物、各部会、防錆管理士会行事の紹介など）を <http://www.jacc1.or.jp> を通して行った。

また、防錆管理士資格者の所在不明者名簿を掲載し、情報の提供を求め、逐次修正を行った。

## 6. 防錆に関する参考材料の展示を行う事業

### 6.1 2020洗浄総合展

令和2年10月14日～16日の3日間、東京ビックサイトにおいて開催される「2020洗浄総合展」（主催 日本産業洗浄協議会、日刊工業新聞社ほか）に協賛し、小間の提供を受けて当協会の活動紹介と防錆技術相談会を行う予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大により、開催期間を令和2年10月14日～11月13日に拡大してリモートでの開催となった。

そのため、当協会の出店は中止となった。

### 6.2 防錆防食技術発表大会カタログ展示コーナー

第40回防錆防食技術発表大会が新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止されたため「カタログ展示コーナー」も中止となった。

## 7. 防錆に関する技術相談を行う事業並びに研究の受託及び委託を行う事業

会員からの依頼により、防錆に関する2件の試験研究を受託し、実施した。

## 8. 防錆に関する技術向上のため発明、研究に対する顕彰を行う事業

令和2年度の該当事業はなかった。

## 9. 防錆に関する事項について国会、政府その他に対し意見を開陳する事業

令和2年度の該当事業はなかった。

## 10. 本会の目的を達成するために必要な事業

### 10.1 本部事業

総会 令和2年6月9日、機械振興会館において定時社員総会を開催した。

理事会 令和2年5月20日、書面審議により通常理事会を開催した。

また、令和2年11月19日、令和3年3月23日に機械振興会館において通常理事会を開催した。

### 10.2 支部事業

中部支部、関西支部並びに沖縄支部の3支部は、それぞれに活発な活動を行い、地域の防錆防食技術の向上と普及に努め、地域経済の発展に大きく貢献した。

#### (1) 中部支部（支部長 名古屋大学 市野良一殿）

総会 令和2年7月20日、書面審議により通常総会を開催した。

幹事会 令和2年7月20日、書面審議により幹事会を開催した。

#### (2) 関西支部（支部長 (一社)日本防錆技術協会 羽田隆司殿）

総会 令和2年6月5日、難波市民学習センターにおいて通常総会を開催した。

幹部会 令和3年1月22日、Web会議開催。

幹事会 令和3年2月12日、Web会議開催。

(3) 沖縄支部（支部長 琉球大学 屋良秀夫殿）

総会 令和2年8月11日、書面審議により通常総会を開催した。

幹事会 令和2年8月11日、書面審議により幹事会を開催した。

講演会 令和2年11月13日、琉球大学研究者交流会館において「通信設備の防錆防食技術に関する最近のトピックス」東日本電信電話㈱ 折口壮志殿（リモート講演）、  
「鉄道橋、道路橋の防錆防食技術の最近の話題」建設塗装工業㈱ 江成孝文殿  
の講演会を開催した。

**10.3 関係省庁及び関係団体との協力事業**

関係省庁及び関係団体の要請により6件の機関、委員会に役員、委員を派遣した。